

クイックリサーチシステム (QRS) 004 人口減少地域における保育施設運営に関する調査



令和5年の出生数が72.7万人。
少子化が進み保育施設の経営が
より一層厳しくなるかも。



保育機能の確保と強化にはどのよ
うな制度的拡充が有効なのだろう？
皆の意見を聞いてみたいね。

令和6年8月30日に公開されたこ
ども家庭庁令和7年度予算概算要
求の概要の中に『過疎地域における
保育機能確保・強化のためのモデル
事業』という事業があるから具体的
な内容を早く知りたいな。



こども家庭庁

過疎地域における保育機能確保・強化のためのモデル事業 **新規**

成育局 保育政策課

事業の目的

<保育対策総合支援事業費補助金> 令和7年度概算要求額 589億円の内数 (459億円の内数)

- 過疎地域の保育所は、地域で唯一の子育て支援の拠点でもあり、その保育所が運営困難に陥ると、こどもを預けて働く場やこどもが集まる場所がなくなり、地域そのものの維持が難しくなる。過疎地域の保育所が、その規模の小ささ故に国基準を満たした子育て支援事業の実施が困難であること等にも鑑み、地域の人々も交えた様々な取組（国基準以下の子育て支援事業や当該施設の独自事業等）にかかる具体的な取組内容や運用上の工夫、財政面も含めた運営上の課題など、今後の保育所の多機能化に向けた効果等を検証し、地域における保育機能の確保・強化を図るためのモデルを構築する。

<人口減少地域における保育施設運営に関する調査> <https://questant.jp/q/jinkougen>

国内の出生数の急激な減少より保育施設の存続という課題が今私たちに直面しており、それは人口減少地域に限定されたものではありません。将来どんな状況になっても子ども達の笑顔があふれる保育の場と機能がそれぞれの地域社会で持続されるよう、保育関係者の意向を把握するために実施する調査です。皆様のご協力をお願い致します。

回答はこのQRコードから→



QRS (クイックリサーチシステム)
サポーターへの登録をお願い致します。



調査結果は
登録者のみに
配信されます

この調査の冒頭にQRSサポーター(下記参照)への登録をお願いしております。EBPM(証拠に基づく政策立案)が推進される現代において、体感や経験ではなく、保育現場の状況を数値化し、根拠に基づいた政策を提案することが非常に大切になっています。

QRS稼働のためには、保育に対して常に課題意識を持っている皆様のご協力が不可欠です。皆様のアンケート調査結果が、保育や子育て政策に大きな影響を与え日本の将来を決める可能性もありますので、是非とも「QRSサポーター」登録のご協力をお願い致します。

QRS(クイックリサーチシステム) サポーター登録者について

1. 登録に条件はありません。関心のある方すべての方にご登録いただけます。
2. 登録いただいたメールアドレスに、月に数回、1回7問程度のアンケートが届きます。
3. ご登録頂いた方には迅速に結果(単純集計)を報告致します。
(調査内容によっては、結果が公表されない場合もあります。)
4. 登録解除を希望される場合は、調査依頼のメールへ「解除希望」と記入してご返信ください。
5. お預かりした個人情報については厳重に管理いたします。



↑
**QRS登録
はこちら**